

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・特別活動

目標・人権教
育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

「人権感覚育成プログラム」（学校教育編第2集 埼玉県教育委員会）を活用し、共に支え合いよりよい人間関係を築いていく態度についての感覚を深め、主体的に考え判断する力の育成を図った。

工夫した点

各授業において、『体験的な学習』における学習サイクルのうち「一般化」を大切にし、行動に結びつけるため技能を育成することを目指した。

他教科との
関連

道徳科

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

① 女性

対象学年・
取り扱った教科等

1 学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

「人権感覚育成プログラム」（学校教育編第2集 埼玉県教育委員会）を活用し、性のあり方は多様であることを理解させ、他者のあり方を尊重しようとする態度の育成を図った。

工夫した点

マイノリティに関する動画視聴を事前に行った。

他教科との
関連

保健体育科、道徳科。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

② 高齢者

対象学年・
取り扱った教科等2 学年
総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

本校で従前から取り組んでいる地域の方々とふれあう教育に、地域の教育力を積極的に導入することで、地域の方々に対する感謝の思いや高齢者に対する思いやりの心の育成を図り、人権感覚を高めた。

工夫した点

地域の長寿会との連携を図った。

他教科との
関連

道徳科。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

③ 障害者

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・保健体育科

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

シッティングバレーやボッチャなどのパラスポーツを実際に体験することで、パラスポーツに関心を持つとともに、共に生きていこうとする共感と連帯感の育成を図った。

工夫した点

体験することで大変さや楽しさを実感させた。

他教科との
関連

道徳科、総合的な学習の時間、特別活動。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

④ 同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

2 学年・ 社会科

目標・人権教
育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

・ 部落差別の厳しさや悲惨さだけに焦点を当てるのではなく、厳しい差別を受けてきた人々は、農業を営み年貢を負担していたこと、犯罪者の捕縛など治安の維持を担う仕事をしていたこと、皮革業などの手工業に従事していたこと、芸能や伝統文化の継承に携わっていたこと等、世の中を支える役割を担っていたことをしっかりと学習し、理解させる。

また、厳しい差別に屈することなく、自ら立ち上がり、差別をなくし生活を向上させる運動を展開していったことを理解させ、立ち上がった人々の思いを考えさせる。

工夫した点

同和問題に関する動画視聴を効果的に行った。

他教科との
関連

道徳科、総合的な学習の時間、特別活動。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

⑤ アイヌの人々

対象学年・
取り扱った教科等

2学年・社会科

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

アイヌ社会・文化について理解し、共生社会の発展のために努力しようとする態度の育成を図った。

工夫した点

国立アイヌ民族博物館の学芸員と連携し、zoomによる同時双方向の授業を展開した。

他教科との
関連

道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、校内掲示等。

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

⑥ 外国人

対象学年・
取り扱った教科等

2 学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

「人権感覚育成プログラム」（学校教育編第 1 集 埼玉県教育委員会）を活用し、少数派の人々の立場を疑似体験をさせることを通して、自分とは異なる文化や価値観を持つ人々と相互に理解し合い、尊重し合い、共に学び、共に生きようとする態度の育成を図った。

工夫した点

外国人に関する動画視聴を効果的に行った。英語指導助手（AET）との連携を図った。

他教科との
関連

英語科、道徳科、総合的な学習の時間。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

⑦-2 ハンセン病患者等

対象学年・
取り扱った教科等

2学年・社会科

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

ハンセン病に関する基礎知識、国の対応についての歴史、罹患者やその家族の苦悩について理解し、共生社会の発展のために努力しようとする態度の育成を図った。

工夫した点

国立ハンセン病資料館の学芸員と連携し、zoomによる同時双方向の授業を展開した。

他教科との
関連

道徳科、総合的な学習の時間、特別活動、校内掲示等。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

⑩ インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等全学年・朝の短学活
1学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

インターネットによる人権侵害について、だれでも加害者、被害者になり得ることを実際の事例をもとに考え、どうすれば加害者にも加害者にもならないかということを実践的に学んだ。

工夫した点

朝の短学活の時間を活用した定期的な動画視聴。現役警察官を招聘しての出前授業。

他教科との
関連

道徳科。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

⑪ 北朝鮮当局による拉致問題等

対象学年・
取り扱った教科等

3学年・社会科

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

拉致という自由を奪う行為がどれほど理不尽なものであり、本人はもちろん家族の人生も大きく狂わせてしまったことに共感し、早期に解決すべき課題であることを理解するとともに、課題解決に向けての態度の育成を図った。

工夫した点

北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」(DVD)の活用。

他教科との
関連

道徳科。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

⑫ 性的指向、性自認

対象学年・
取り扱った教科等

3学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

「人権感覚育成プログラム」（学校教育編第2集 埼玉県教育委員会）を活用し、性のあり方は多様であることを理解させ、他者のあり方を尊重しようとする態度の育成を図った。

工夫した点

マイノリティに関する動画視聴を事前に行った。

他教科との
関連

保健体育科、道徳科。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

埼玉県

学校名

入間市立金子中学校

人権課題

⑬ その他（普遍的な人権課題）

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・全教科、領域

目標・人権教育のねらい

自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができ、それを様々な場面等で具体的な態度や行動に現わすことができる生徒の育成。

実施した内容

- ・各教科の授業で、「主体的、対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、生徒の学習意欲や学力の向上を期待した。また、「個人、ペア、グループ、一斉等」の学習形態を学習内容に即して効果的に選択することで、一人一人の学びを保障した。
- ・道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の授業において、学校行事とも関連させながらソーシャルスキルトレーニングや「人権感覚育成プログラム」等を計画的、意図的、効果的に実施することで、生徒の人間関係を構築する力や人権感覚を養い、好ましい人間関係や自分自身に自信を持って表現できる集団を形成した。
- ・総合的な学習の時間において本校で既に取り組んでいる狭山茶とふれあう教育や地域の方々とのふれあう教育に、地域の教育力を積極的に導入することで、地域の方々に対する感謝の思いや「和敬清寂」の精神（人に対しては和やかに、相手を敬い、清らかで物事に動じない落ち着いた心）を育成し、人権感覚を高めた。

工夫した点

埼玉県教育委員会が示す「人権感覚育成のための9つの視点」を意図的、計画的に教育活動の中に盛り込み、地域の教育力を積極的に学校教育の中に導入することで、生徒の人権感覚を育成することを目指した。

他教科との
関連

全教科及び道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の授業だけでなく、短学活、朝会、校内掲示等、学校で展開されるすべての教育活動の中で実践した。